

<第4回区民版子ども子育て会議 feat.そとあそびプロジェクト・せたがや>  
～せたがやの「そとあそび」環境を考えよう！～

2019年10月24日（木）18：30～ @成城ホール 4階 集会室E

#### ■きぬたまの被災報告

- \* 設置したかまどやベンチなど、いろいろ壊れて流された
- \* 遊び場が泥で50センチぐらい埋まってしまった
- \* あちこちに陥没穴ができた、そこにいる生き物の救出作戦もした
- \* ごむ手袋など必須、みんなで日々復旧作業をしている
- \* これから基金的なモノを作るかも、みなさんに助けてほしい

#### ■吉永先生のお話

- \* これから話をする内容は、どうして区民版として設定したのか、何を話してほしいのか、ということ
- \* 先日まで子ども計画のパブリックコメントがあった、主として保育などだが、ここに外遊びも入れ込んでほしい
- \* 先週まで子どもの放課後調査でドイツに行ってきた
- \* ドイツの道や公園では日本と逆で、子どもファースト、それ以外の行為がダメ
- \* ドイツの冒険遊び場では外遊びの中に内遊びがある
- \* 民間の非営利団体が運営しているが、2人分を3人で分けているなど資金的には厳しい
- \* 学校との連携が明確になされている
- \* 外遊びの国家資格がある（社会教育士）、民間では遊び遊育士などの資格もある
- \* 若者のふらふらする時間が確保されている、社会貢献がポイント制、これが多様な生き方に結びついている
- \* ドイツ調査からのまとめ
  - 1) 子どもの権利を尊重すること、子どもファーストを徹底すること
  - 2) 教育と外遊びの連携が強化されていること（放課後や長期休暇の活用）
  - 3) 大人が子どもと一緒に遊ぶための自由な時間を増やすこと（多様な生き方の重視）
  - 4) 外遊び推進員の機能と役割を世田谷区で根付かせること（日本製の社会教育士）

#### ■外遊び推進員（中村俊一さん）の紹介

- \* 東日本大震災後、8年ほど気仙沼で遊び場づくりをしてきた

- \* 外遊び推進員は世田谷区内での外遊びを豊かにする仕事
- \* 今年は馬事公苑・下北沢などでみち遊びの機会を増やしている、何かやってみたい人は相談してほしい
- \* 最近是被災地支援で佐賀と長野に行っている、災害で学校や遊び場がなくなってしまった
- \* 子どもが家にいると片付けができずお互いにストレスがたまる、有事・日常時から遊び場は大切

## ■本編

ワーク 1) 遊びの自由について、子どもの言葉を代弁してください

乳幼児・保育園・幼稚園こども園・学童（小学生）・若者（中高生）

（上記のカテゴリーでグループに分かれて着席）

（代弁の言葉を書いてもらい、グループ内で発表する）

ワーク 2) みんなが出してくれた子どもの声の実現するには？

（グループ内でアイデア出し）

### □若者チーム

<子どもたちの声>

\* 鬼ごっこやゲームもしたい！お金が欲しい、自由に使いたい！もっと馬鹿げた遊びをしたい！

\* 大人からのプレッシャーを感じる、何もしないことも認めてほしい

\* だらだらしたい、ごろごろしたい、ねたい、成績を気にしたくない

\* 部活以外の集まりがほしい、集まれる場、だらだらできる場がない（夜の公園などでも）

\* ルールを大人だけで決めないでほしい

<解決アイデア>

\* まだまだ場がない

\* そういう場に声を聞く大人がいるかどうかも大切

\* 声を出せる関係性も必要、紹介してくれる信頼できる大人とか

\* そもそもアドボケイターがいない、もっと啓発していく必要がある

### □乳幼児チーム

<子どもたちの声>

\* もっと外で遊びたい、水遊び・砂遊びをしたい

\* 車を気にしないで走り回りたい

\* パパママや他の人とももっと遊びたい

<解決アイデア>

\* 遊ぶためのインフラ改善（公園を増やす、公園に洗い場を設ける、歩行者天国を増やす）

\* 親の時間の確保（働き方改革）

\* 場所と時間があっても遊び方がわからない、外遊び自体をハードル高く思ってる親も？  
（外遊び体験会、泥フェスなど）

\* 外でおにぎりを食べるなどの食の視点もあり

□小学生チーム

<子どもたちの声>

\* 夜まで遊びたい、映画みたい、花火・たき火したい、大声出したい

\* 危険なことにわくわくする

<解決アイデア>

\* 学校が変わるには地域の力が必要

\* 子どもたちの危機管理能力が下がっているというが、親もその力が下がっている

\* 地域の人が危険の抑止力になるとよい

\* 秘密基地、土地を貸してくれる地主さんがいるとよい

\* 大人の目、見て見ぬ振りをする人が増えるとよい（が、一方でクレーマーもいる）

\* 外遊びがかっこいい、タピオカみたいにブームになるといい

□保育園チーム

<子どもたちの声>

\* 園児たちは泥遊び・水遊び、虫探し、走りたい、草むしりしたい、木登りしたい

\* 危ない遊びに挑戦したい

\* 園庭外にも遊びに行きたい

<解決アイデア>

\* 禁止だらけの公園をもっとバリエーションある公園にしてはどうか

\* あえて整備しない公園とかあってもいいかも

\* 徒歩圏内に遊び場があるといい、一人暮らしの家の庭先の活用なども

\* けがするとすぐ責任問題に、そのあたりの大人の意識改革も必要

\* 保育園前にパパと公園で遊びたい、フレキシブルな働き方を許容できる社会に

\* 親に余裕がないと子どもにも余裕がない、子どもファーストの意識を高める

□幼稚園チーム

<子どもたちの声>

\* 自然にもっとふれあいたい、水遊びしたい

\*なんで? どうして?につきあってくれる大人がほしい

\*スケール大きいモノで遊びたい

\*雨でも、好きなこと、夜でも、ご飯の時間でも遊びたい

<解決アイデア>

\*遊びを止める理由は親にある、それを取り払うにはどうしたらよいか

\*たとえば、食事の時間なら小腹を満たすお店がそばにあるとか、雨の場合は屋根があるとか

\*水遊びも夏だけではない、冬でも遊びたいはず

\*水をテーマにした保育園とか、温泉とか

(休憩)

ワーク 3) 世田谷の子ども計画を後押しするためにみんなでアイデアを出してください

(行政に動いてもらうために我々は何をすればよいか?)

□世田谷区からの報告 (\*\*\*\*資料を見て修正\*\*\*\*)

\*世田谷区では外遊びについてはずいぶん歴史がある

\*2015年に外遊びが推奨され、重点的に位置づけられた

\*公の計画に外遊びと書いてあるのは珍しい(他の自治体では自然体験)

\*世田谷区ではそれをさらにもっとやっという計画

\*計画は手順書、やることが書いてあるだけでなく、計画に載っていると予算が付く

\*計画に何を具体的に書いていくかが重要、一方でいろいろな課が対応できるよう抽象的な目指す姿も

1. 子ども計画第2期…平成27年～36年、現在見直し中、来年度から後期計画が始まる

2. 現行の計画…推進し整備する

3. 新実施計画…区全体で何を推進していくか、外遊びも重点的政策になっている(2021年で終わり)

\*区がどれだけ外遊びを重視しているかということ、家庭的保育、保育施設、ネウボラと並ぶ政策

\*砧プレーパークも計画しているが、場所だけでなく参加する人たちが大切

\*本当は身近なところでできるとよいと考え、外遊び推進員を配置した

\*普及啓発で大事なことは、関心がない人たちが見守ってくれるようになること

\*施策展開の柱立て…具体的なことがない、民間も一緒にやっていくことが大切

(グループ内でのディスカッション)

#### □幼稚園チーム

- \* せわしない親が多く、子どもファーストになっていない、そういうことがないようにする視点が大切
- \* 地域の中で人がつながっているのに行政が縦割りなのはよくない、いろいろな部署に参加してほしい
- \* 地域の定義（人・場所など）を常に確認していきたい、地域という言葉でぼやかすことはやめてほしい

#### □若者チーム

- \* 子どもの声をきちんと聞く講座を開催してはどうか（一般向け・専門職向け）、その声が行政に伝わる仕組みも考えたい
- \* 行政の人に子どもの生の声を聞く機会を作りたい（たとえば、まちセンでのボードゲーム・麻雀大会など）
- \* 夜の公園で居場所づくりイベントをやってみてはどうか

#### □小学生チーム

- \* 「そろそろタピオカ」がキーワード、この現状をブレイクしたい
- \* 外遊びに関心がある人以外の人にどう届けるか（エビデンス、アート、室内の冒険基地など多様な方法で）
- \* のぼりとかで目立たせる
- \* 既存の活用として特化した公園をつくるとか（水遊び・泥遊びOK、ドラクエのテーマが流れる、壁に描ける）
- \* 遊び場を巡るシャトルバスやプレーバスの運行

#### □乳幼児チーム

- \* 切れ目のない支援、生まれた子どもが若者になってさらに親になる
- \* しかし母子手帳もらうときには親と言われても何も実感がわからない
- \* 今の両親学級で教えられるのは育児のことだけだが、もっと具体的な育休の取り方なども教えてはどうか
- \* 育休に関する助成金は従業員向け、経営者は取れない
- \* 子どもが小さいうちから赤ちゃん学・育児学など具体的な授業をやってはどうか
- \* テレワークでも預け合いは必要、テレワークの人向けの保育園もありではないか

#### □保育園チーム

- \* 公園の特化した活用は行政の仕事
- \* むしろ、外遊びがいいと思っていない人に、そのよさを伝えることが重要

\*外遊びを体験してもらう機会を作ってはどうか

\*それには、外遊びがいいと思っていない人たちの立場になってみて、効果があるかを考えてみる

\*地域ともっと、イベント的ではない、日常的な関わりを作ることも大切、それによって子どもたちが怒られなくなる

#### ■PR タイム

\* 11/24、ビオキッズ@世田谷公園

\* 10/27、若者支援シンポジウム@希望丘

\* 1/11、プレーパークせたがや 40 周年シンポジウム@生活工房

\* 10/27、北沢おせっかいクラブストリートプレイ@下北沢

\* 安全ナビのアプリ（不審者情報などを配信）

\* 11/14、ユニセフやさしいまちシンポジウム

\* 託児付きコワーキングスペース cotton がオープン（8 月から）

\* 10/26、三茶周辺まちづくり会議@三茶

\* 11/2～3、楽市楽座綿あめ@世田谷駅

\* 11/6、あそびから学ぼうワークショップ@若林

#### ■次回の区民版子ども子育て会議

12/4@成城ホール、テーマは防災